

13年度以降	経済経営数学入門	担当者	各担当教員
講義目的、講義概要		授業計画	
<p>経済学部に入學された皆さんは、経済学・経営学の領域を文系と考へて進學された方が多いと思ひますが、経済学・経営学の分野では数学的手法が多用されます。</p> <p>そこでこの講義では、経済、経営・ビジネスにおける問題を考へるために、どのように数学が使われているのかを理解し、数学を使う意味やメリットを知ってもらいながら、経済・金融・ビジネスに必要な数学的基礎を養成していきます。</p> <p>新しい数学を学ぶというより、むしろ高校までに習う範囲の数学を、経済学や経営学の分野ではどのように使っているかを学ぶことが中心となります。数学は講義を聞いているだけでは身に付きません。授業中の答案演習や持ち帰りの課題によって、皆さんに実際に例題、練習問題を解いてもらいます。</p>		<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス、算数からの復習 (分数、変化率、百分比) 2. 数学の基礎 (文字式の書き方と展開、連立方程式、Σ) 3. 数学の基礎 (関数、逆関数、増加関数と減少関数) 4. グラフの読み方 (因果関係と相関関係) 5. 1次関数とグラフ—需要曲線、供給曲線、消費関数 6. 2次関数とグラフ—売上 7. 3次関数とグラフ—総費用関数と利潤関数 8. 微分の考へ方 9. 微分の計算と公式 10. 関数の増減と極大・極小 11. 最大化・最小化の条件 (一階の条件と二階の条件) 12. 微分と最大化問題—利潤最大化問題 13. 単利・複利、経済成長率 14. 等比数列とその和—期待収益の割引現在価値 15. まとめ 	
到達目標	経済学・経営学に関連する数学の基礎知識を習得し、数式・グラフを利用した初歩的な分析ができるようにする。		
事前・事後学修の内容	受講前にはテキスト範囲の予習を行います。また、受講後には授業中にだされた練習問題を解いて復習します。		
テキスト、参考文献	テキスト、参考文献は、石川秀樹(2015)『経済学と(経済学、ビジネスに必要な)数学がイッキにわかる!!』、尾山大輔・安田洋祐編(2013)『改訂版 経済学で出る数学』などが想定されますが、各担当教員が指示します。		
評価方法	基本的には、定期試験の得点(100点満点)を評価基準に照らして評価しますが、レポート、小テストなど、その他の評価に加味するものについては各担当教員の指示に従ってください。		